

新型インフルエンザ

新型インフルエンザとは、人類が過去経験したことのない新しい型のインフルエンザのことです。数十年の周期で出現し、世界的に大流行して多くの死者を出してきました。

よく話題になる大流行は、1918年のスペイン風邪で、世界中の人の40パーセントがかかり、死者は2千万人とも4千万人とも言われています。1957年のアジア風邪も400万人が亡くなる大流行でした。

鳥インフルエンザとの関係

鳥インフルエンザとは、トリがかかるインフルエンザのことです。その中で致死性が強く変化したものを高病原性インフルエンザと言います。近年、この高病原性インフルエンザがまれにヒトにうつるようになり、死亡例が報告されています。やがて新型インフルエンザになる可能性が高く、H5N1型が有力候補です。

東南アジア、ヨーロッパ

各地で発生が報告され、次第に拡大する兆しがあるかかええます。

この高病原性インフルエンザは、トリからヒトにうつることはありますが、まだヒトからヒトにうつったことは確認されていません。もし確認されれば、人類が初めて経験する新型インフルエンザとなり、世界中のだれも抵抗力（抗体）を持っていないので大流行になります。

大流行するまでの経過

WHO（世界保健機関）では、新型インフルエンザが大流行するまでの経過を6段階に分類しています。第1段階では毒性の強いウイルスがトリなどから検出され、第2段階ではヒトに感染する危険性が高くなります。第1・第2段階では共にヒトへの感染は見られません。

ヒトから新型インフルエンザが確認された場合には第3段階となりますが、ト

リからヒトへうつるだけでほかのヒトにうつっていくことはありません。

ヒトからヒトへの感染が見られた場合、その範囲が小さいうちは第4段階、大きな集団発生になると第5段階となります。そして世界中で大流行となる第6段階をパンデミックと言います。

現在はまだ第3段階まで進んでいます。WHOでは大流行に備えて事前対策計画を作っており、わが国でも対策が進められています。もし大流行になると、わが国では1千300万人〜2千500万人が新型インフルエンザにかかる予想されます。わが国では大流行に備えて薬剤の備蓄に努めています。大流行に至らないことを祈るばかりです。



佐伯地区医師会
田邊 賢

なるほど!! 健康講座

問合せ 廿日市市保健センター ☎⑩1610